

日常・サービス作業ガイド

作業例の危険要因と確認事項を確認し、実際の現場に合うリスクアセスメントと作業書類を作成します。

Smart JSA Bridge 編集ガイド コンテンツ改訂 2026-10-03

01 現地の文書と適用範囲

作業リスクアセスメントで危険性・有害性を洗い出し、リスク低減措置を安全作業手順書に反映します。作業前のKY活動で当日の重点事項を共有しますが、KY活動だけでリスクアセスメントを置き換えないでください。作業主任者・特別教育・許可の要否は、実際の作業区分と設備に合わせて確認します。

作業リスクアセスメント

安全作業手順書

作業許可書

危険予知活動（KY）記録

安全点検表

作業計画の参考資料です。数値基準・許可・資格は国・業種・設備に合わせて確認し、測定値・作業者・署名は作業ごとに新しく記録してください。

02 現場に適用する手順

1 作業範囲を分ける

設備・場所・手順、作業者、周辺作業、動線を確認します。準備・実施・片付けに分け、現場で確認した危険要因を記録します。

2 手順ごとに対策をつなぐ

除去・代替・工学的対策を先に検討し、手順と保護具を補います。対策ごとに担当者、確認方法、中止条件を決めます。

3 書類と現場確認をつなぐ

現地の評価書・手順書と必要な許可書を選び、作業前に共有します。図面・点検表をまとめ、変更時は再評価し、今回の出力版を保管します。

GEN-01

物流倉庫でのフォークリフトによるパレット積載および運搬

想定される危険要因

急旋回によるフォークリフトの転倒、視界不良による歩行者との衝突

現場で確認・具体化する事項

- 車両と歩行者の動線を分け、視界・後退・荷役場所を確認します。速度と誘導方法は現場に合わせ、荷や地盤が不安定なら中止します。
- 重量・重心・吊り点・定格荷重・玉掛け角度を確認します。地盤・経路・立入禁止区域・合図を定め、揚重計画に従います。

GEN-02

病棟での患者移乗介助および医療廃棄物処理

想定される危険要因

移乗中の患者の転倒、使用済み注射針による針刺し感染

現場で確認・具体化する事項

- 作業別の教育・資格と専用手順を確認します。工程・機器の防護、ばく露管理、緊急対応と責任者の確認を作業計画に具体化します。

GEN-03

緑地帯での草刈りおよび樹木剪定作業

想定される危険要因

破損した刈刃による飛来物への激突、頭上の架空電線による感電

現場で確認・具体化する事項

- メーカー手順、ガード、エネルギー遮断と残留エネルギー除去を確認し、再起動前に人員・工具を確認します。
- 設備・回路・電源の特定、逆送電・誘導電圧・蓄積エネルギー; 電源の切離し・再通電防止・施錠と表示; 検電器・機能確認・無電圧確認結果・確認者; 必要な接地・短絡、近接充電部の防護と作業区域; 作業終了・退避・施錠解除・復電承認の記録。

GEN-04

死角エリアの徒歩巡回および交通誘導

想定される危険要因

進入車両との衝突、夜間巡回中の不審者からの暴行・傷害

現場で確認・具体化する事項

- 車両と歩行者の動線を分け、視界・後退・荷役場所を確認します。速度と誘導方法は現場に合わせ、荷や地盤が不安定なら中止します。
- 作業別の教育・資格と専用手順を確認します。工程・機器の防護、ばく露管理、緊急対応と責任者の確認を作業計画に具体化します。

GEN-05

実験室での試薬調製および分析機器の操作

想定される危険要因

ドラフトチャンバーの排気不良による有毒ガス漏えい、試薬の飛散による化学火傷

現場で確認・具体化する事項

- SDS、適合性、密閉・局所排気、漏えい遮断と緊急対応を確認します。測定対象・基準・呼吸用保護具は物質とばく露条件に合わせて選定します。

GEN-06

地下駐車場のディープクリーニングおよび高圧洗浄作業

想定される危険要因

徐行しない車両との衝突、湿潤環境での電動工具による感電

現場で確認・具体化する事項

- 車両と歩行者の動線を分け、視界・後退・荷役場所を確認します。速度と誘導方法は現場に合わせ、荷や地盤が不安定なら中止します。
- 設備・回路・電源の特定、逆送電・誘導電圧・蓄積エネルギー; 電源の切離し・再通電防止・施錠と表示; 検電器・機能確認・無電圧確認結果・確認者; 必要な接地・短絡、近接充電部の防護と作業区域; 作業終了・退避・施錠解除・復電承認の記録。

GEN-07

廃棄物破碎機の運転および投入口の詰まり除去

想定される危険要因

投入口での巻き込まれ・挟まれ、他者の予期せぬ起動による粉砕

現場で確認・具体化する事項

- メーカー手順、ガード、エネルギー遮断と残留エネルギー除去を確認し、再起動前に人員・工具を確認します。

GEN-08

外側窓ガラス清掃およびブランコ作業（ロープ高所作業）

想定される危険要因

ロープの摩耗・破断による墜落、落下した工具による歩行者への激突

現場で確認・具体化する事項

- 高所作業の回避・作業床・手すり等の優先措置; 墜落防止・制止用器具、取付設備、地面・障害物までの必要クリアランスの確認; 昇降・踏み抜き・開口部・落下物の対策; 気象・作業条件・器具点検・中止基準; 現場の救出方法・人員・器具・連絡と準備確認.

GEN-09

集団給食施設での食材下処理および大型回転釜での調理

想定される危険要因

濡れた床によるスリップ・転倒、高温の油や水蒸気への接触による火傷

現場で確認・具体化する事項

- 作業別の教育・資格と専用手順を確認します。工程・機器の防護、ばく露管理、緊急対応と責任者の確認を作業計画に具体化します。

GEN-10

データセンターでのサーバーラック設置およびケーブル配線

想定される危険要因

移動中のラックの慣性による挟まれ、高所作業中の脚立からの墜落

現場で確認・具体化する事項

- 重量・重心・吊り点・定格荷重・玉掛け角度を確認します。地盤・経路・立入禁止区域・合図を定め、揚重計画に従います。
- 高所作業の回避・作業床・手すり等の優先措置; 墜落防止・制止用器具、取付設備、地面・障害物までの必要クリアランスの確認; 昇降・踏み抜き・開口部・落下物の対策; 気象・作業条件・器具点検・中止基準; 現場の救出方法・人員・器具・連絡と準備確認.

04 今回記録する現場情報

作業日・場所・設備番号、担当者・参加者、許可番号、測定値・時刻・測定者、点検結果と変更を記録します。以前の署名や測定値は流用しません。

05 公的な参考資料

下記は現地の用語と適用範囲を確認する資料です。作業例はSmart JSA Bridgeが整理した参考項目で、公的な様式ではありません。

- [厚生労働省・リスクアセスメント資料](#) ↗
- [厚生労働省・印刷・製本作業におけるリスクアセスメントのすすめ方](#) ↗
- [厚生労働省・ステップ7：リスクアセスメント実施状況の記録と見直し](#) ↗

<https://smartjsabridge.com/ja-JP/guideline/general>